

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

2000.3.3 No. 5096



## 2000年春闘勝利 学習・交流集会開催

二月二六、二七日、熱海・つるやホテルにおいて昨年に引き続き全日建関西生コン支部、全金港合同、動労千葉の三組合の呼びかけによる二〇〇〇年春闘勝利学習・交流集会が開催されました。全国の闘う労組の活動家一五〇名が結集し大成功を勝ち取りました。

一日目に港合同の開会あいさつ、国労闘争団の決意表明を受け、元学習院大学教授宮島尚史先生の「産業再生法、民事再生法、分社化法などの攻撃と闘うか」、もう一つは東京東部労組の足立美さんの「水平線が見えてきたー情勢の見方について」です。夜は会食のあと三会場に別れて交流会を行な

二日目は、呼びかけ三組合の提起を受けた後、電機、教組、自治労東京一般などから質問・意見等が出されました。討論のあと動労千葉の中野委員長から「情勢認識、時代認識を変えないといけない支配の側も労働者の側も今までのあり方でやっていけない所に来ている。日本は三年で三兆円の国際を発行しその残高は六百数十兆円になろうとしている。今年の春闘を世直し春闘として闘おう。十一月集會に五千人を集めよう。沖縄、日の丸・君が代反対を闘おう」と閉会のあいさつを受け、最後に関西生コンの川村副委員長の団結カンパニーで終了しました。

### 全日建運輸連帯労組関西生コン支部

副執行委員長 川村 賢市

二〇〇〇年春闘にあたりこれまでの成果として第一に労使共同・共闘事業として「生コン業界の秩序確立」の運動を労働五団体の共闘によって前進させてきた。第二に倒産・失業に反対し、労働者の雇用を守り発展させる闘いも地域共闘などで前年度以上に前進している。第三に連帯労組の運動前進を資本と権力は警戒し組織破壊攻撃をかけてきたが権利侵害反対闘争を果敢に闘い、前進させてきた。

二〇〇〇年春闘は、政府・独占資本のこれまで以上の搾取・収奪攻撃に反対し、賃金・雇用・労働条件の維持向上と国民生活擁護を実現する闘いと結合して、集団的交渉機能の再構築を展望しその実現に努力する。政府・独占資本による産業支配に反対し、中小企業の経営安定と労働者の雇用・労働条件の向上をめざして「大阪広域協組」の運動の成果を近畿一円に拡大すると同時に全国に発信する取り組みを強化し、セメント独占の業界支配を粉砕し、中小企業・労働者の業界作りと共同事業の発展に努める。

### 全国金属港合同

執行委員 辻岡 尚

港合同の現下の倒産争議は、寿鋼管、大正物流、港高周波と倒産攻撃がかけられている。不況の長期化といっそうの深刻化の中で産業再生法の先取りとも言える攻撃として倒産・破産攻撃としてかけられている。また、民事再生法の先取りとしての短期の倒産・解雇攻撃に対しては不当労働行為として、職場占拠闘争で闘う。

二〇〇〇年春闘に向けて大不況・大失業の中で「雇用か賃上げか」から「リストラ賃下げ」の攻撃がかけられてきている。資本主義全体として労働者階級に対する搾取が極端までに強化され、これとの闘いであるという観点が必要である。企業間格差の拡大・雇用形態による格差・差別がおおきくなる中で全国一律最賃制確立の闘いを闘う。また、賃金闘争と権利闘争の考え方として賃金闘争が厳しい場合でも権利問題では譲歩せず、経営領域へと浸食する闘いをしなければならぬ。こうした闘いとして二〇〇〇年春闘をたたかう。

### 国鉄千葉動力車労働組合

書記長 田中 康宏

二〇〇〇年春闘にあたり日経連の主張は「雇用を守るためにはまず徹底して果敢に首を切れ」と一八〇度矛盾・対立したことを言わざるを得なくなってきた。連合は、抵抗も要求もやめ、企業・産業・国家のあらゆるレベルに参加し、失業者が増えることには、安心して失業できるシステムを要求するように資本とのほぼ完全な一体化をなしている。

アメリカのバブル経済は崩壊の瀬戸際にきており、日本経済は国家そのものの破産・倒産状況にきている。アメリカは、六年間で七回の軍事介入を行い、日本は新安保ガイドラインで「戦争のできる国」への転換を推し進めている。我々の課題は、社会のあり方が根本的に間違っているとはっきり言いえることのできる労働運動をガイドライン体制下でつくること。職場・地域・全国のあるゆるレベルで、労働者をどちらの側が獲得するのかの攻防に置くこと。そして、国鉄情勢は分割・民営化の破産とILO勧告で守勢から攻勢へ転ずる状況が与えられた。われわれは、二〇〇〇年春闘を「労働運動の再生と国鉄闘争勝利をめざす組織拡大春闘」として闘う